筑紫野市自治公民館
連絡協議会説明資料

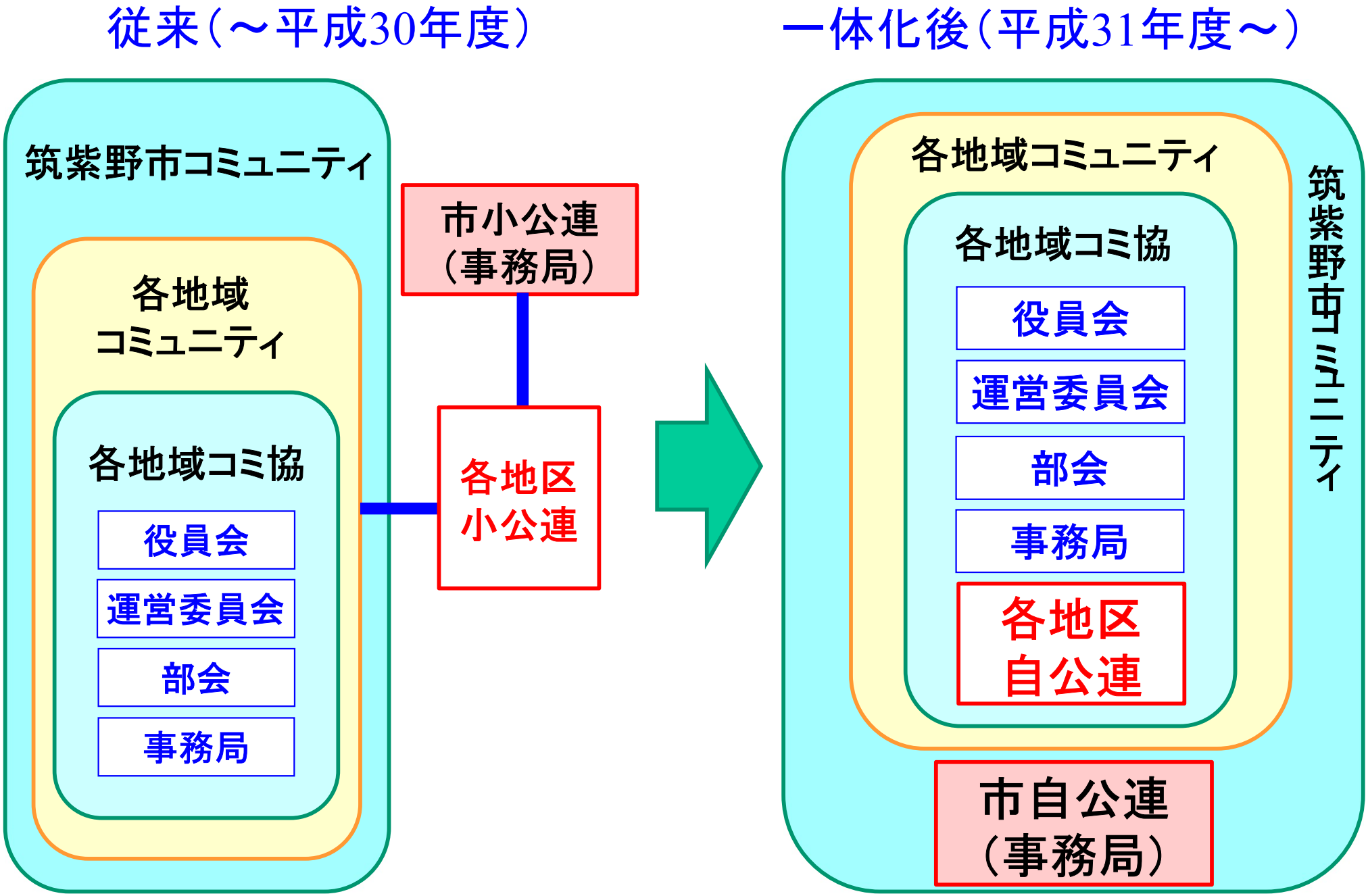
筑紫野市自治公民館連絡協議会
”活動概要”

2026年4月1日
筑紫野市
自治公民館連絡協議会

「自公連・コミ協一体化」の経緯

平成29年2月	市から小公連に対して、小公連とコミ協との一体化について検討を依頼。
平成29年6月 ～ 平成30年3月	小公連において連携検討委員会を組織し、小公連とコミ協の一体化答申案を策定。
平成30年5月	小公連定期総会において、答申案の承認取得。
平成30年6月 ～ 平成31年3月	条例改正、補助金一元化、運用体制等、一体化のための準備、一部試行及び先行推進を実施。
平成31年4月 ～	コミ協と一体化した筑紫野市自治公民館連絡協議会として本格運用開始。

自公連＆コミ協一体化の姿



一体化後の体制および主な変更点

組織

□名称
　小公連 ⇒ 「筑紫野市自治公民館連絡協議会」（自公連）

□位置付け
　小公連 ⇒ コミュニティの組織の中に位置付け

□理事定数
　29名　⇒ 各地区より館長・主事代表各1名選出（14名）

経理

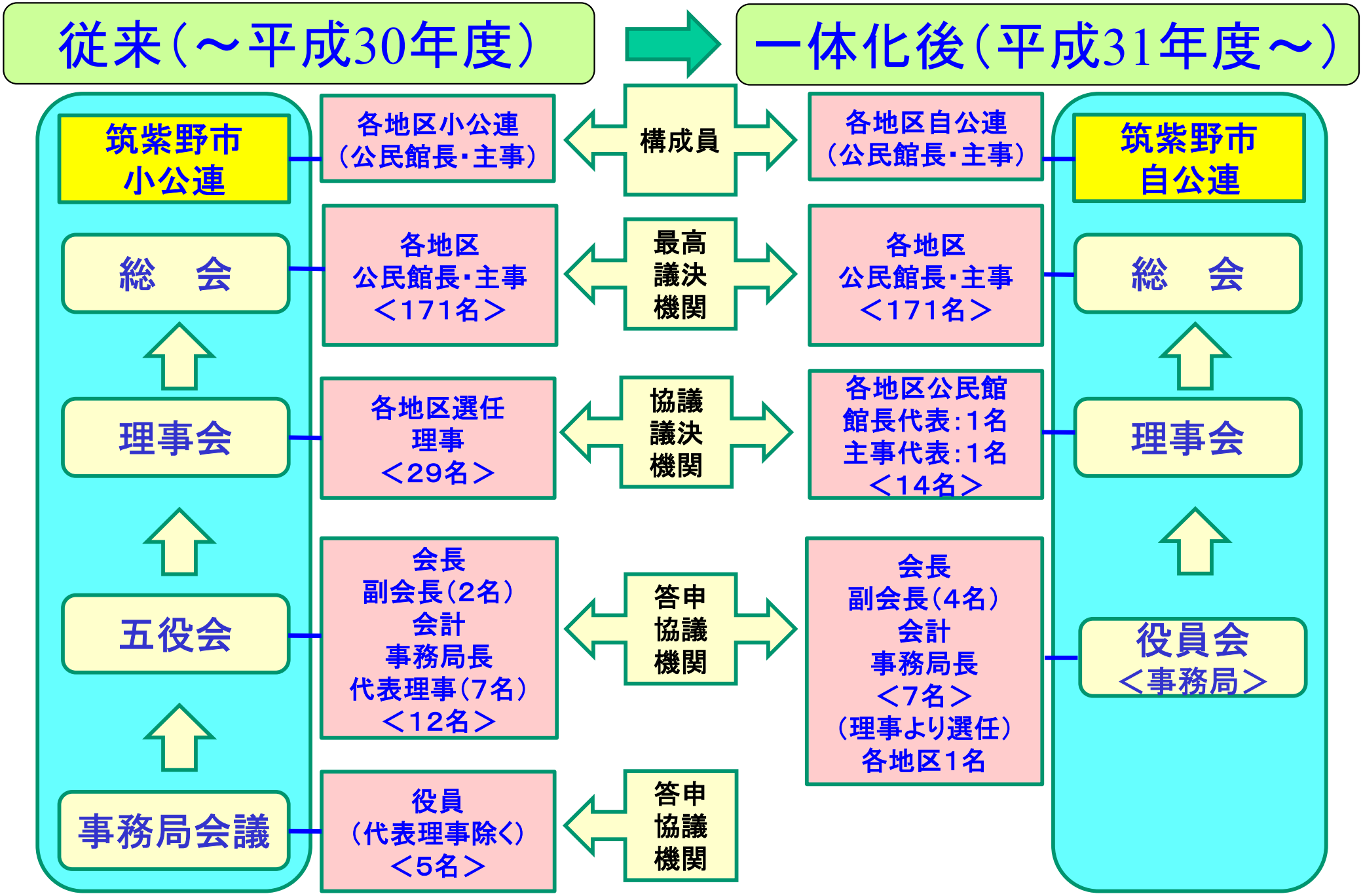
□市補助金
　小公連 ⇒ 地域コミュニティづくり交付金に一元化して配布

□負担金等
　小公連 ⇒ コミ協経由で自公連に配布

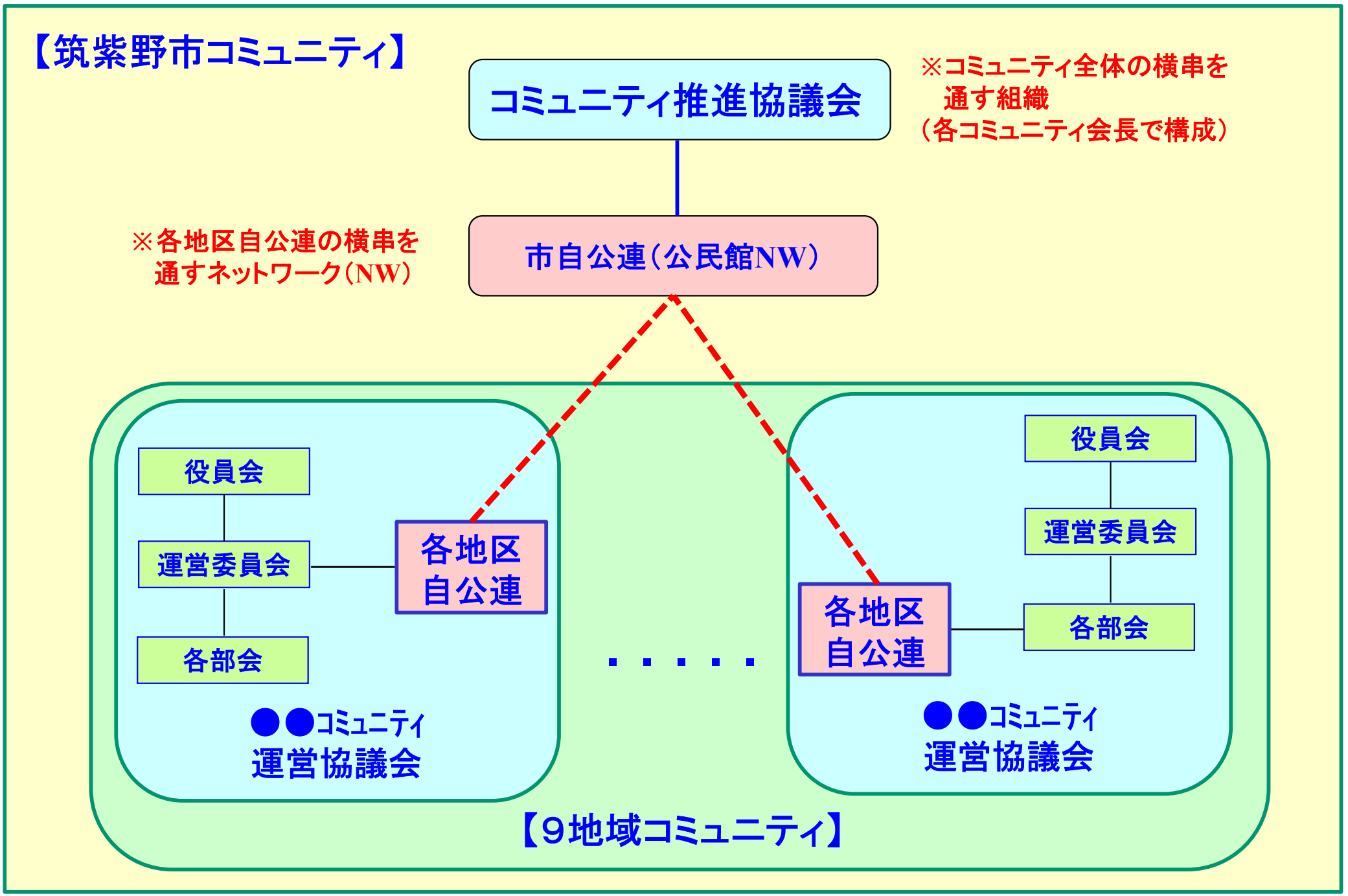
「筑紫野市自治公民館連絡協議会」組織

筑紫野市自治公民館連絡協議会（87組織）

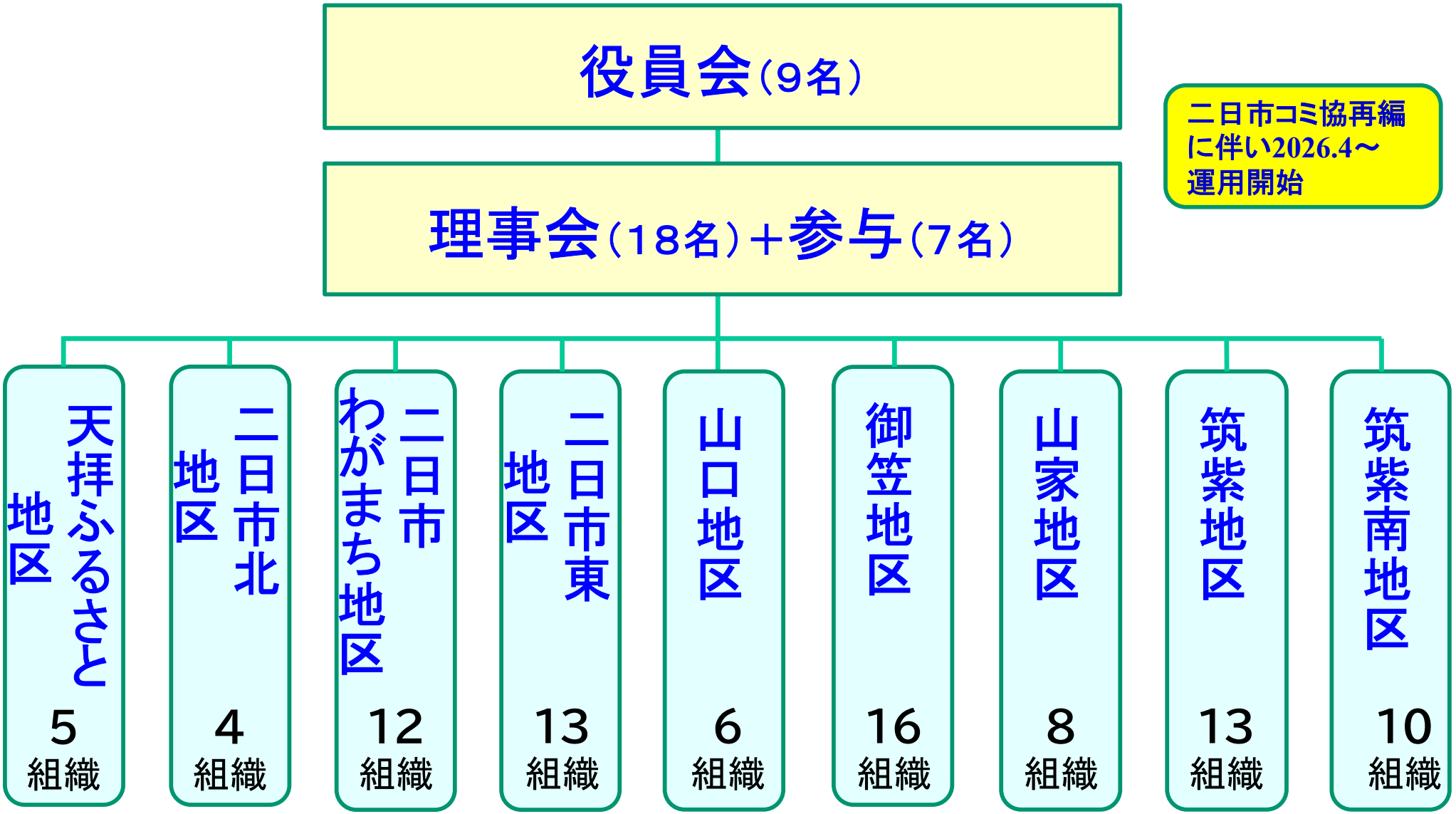
市自公連【組織】


従来（～平成30年度）
一体化後（平成31年度～）
筑紫野市
小公連
総　会
理事会
五役会
事務局会議
各地区小公連
（公民館長・主事）
各地区
公民館長・主事
＜171名＞
各地区選任
理事
＜29名＞
会長
副会長（2名）
会計
事務局長
代表理事（7名）
＜12名＞
役員
（代表理事除く）
＜5名＞
構成員
最高
議決
機関
協議
議決
機関
答申
協議
機関
答申
協議
機関
各地区自公連
（公民館長・主事）
各地区
公民館長・主事
＜171名＞
各地区公民館
館長代表：1名
主事代表：1名
＜14名＞
会長
副会長（4名）
会計
事務局長
＜7名＞
（理事より選任）
各地区1名
筑紫野市
自公連
総　会
理事会
役員会
＜事務局＞

筑紫野市コミュニティ

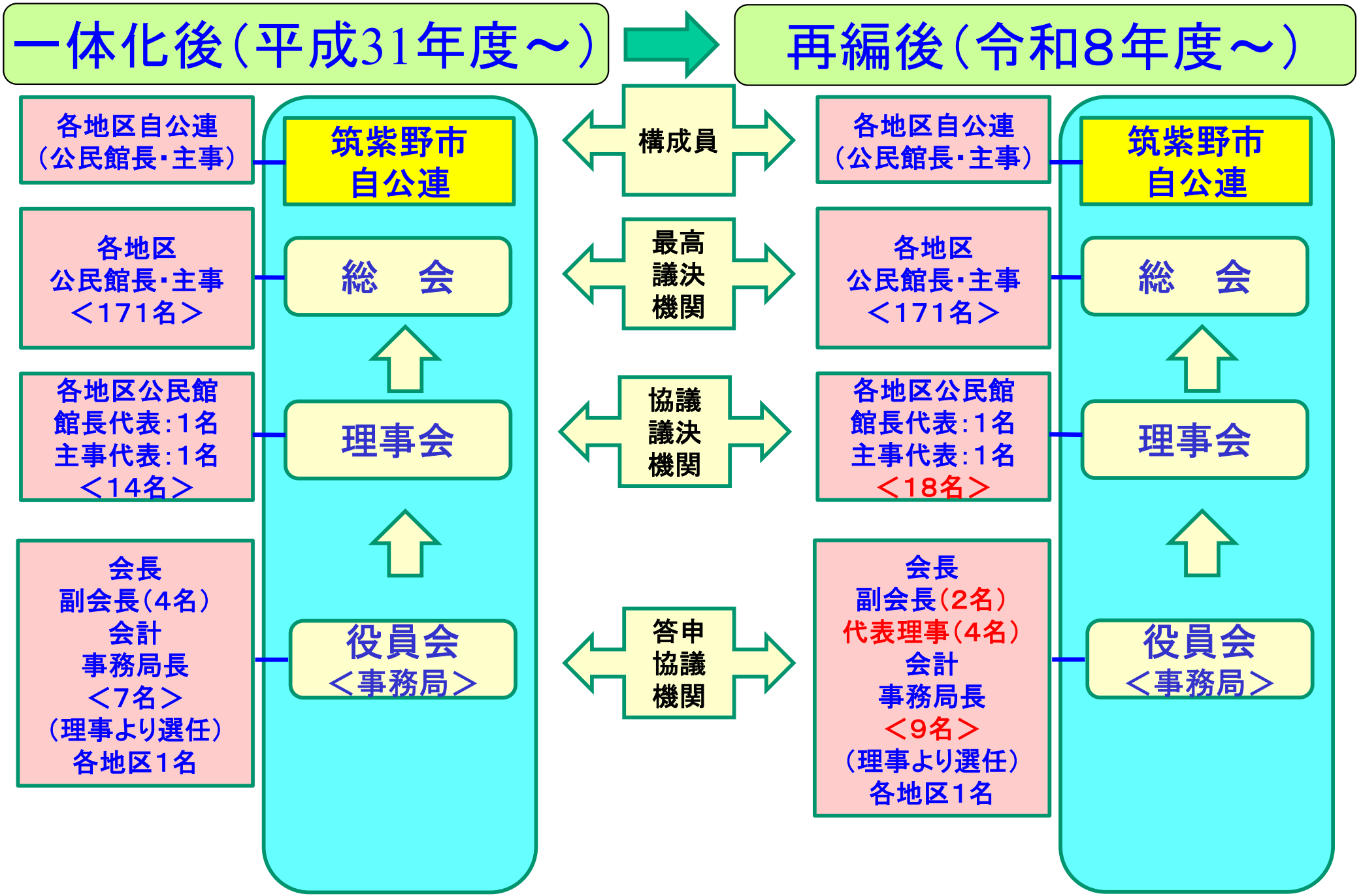

【筑紫野市コミュニティ】
コミュニティ推進協議会
※コミュニティ全体の横串を
通す組織
（各コミュニティ会長で構成）
※各地区自公連の横串を
通すネットワーク（NW）
市自公連（公民館NW）
役員会
運営委員会
各部会
各地区
自公連
●●コミュニティ
運営協議会
役員会
運営委員会
各部会
各地区
自公連
●●コミュニティ
運営協議会
【９地域コミュニティ】

「筑紫野市自治公民館連絡協議会」組織

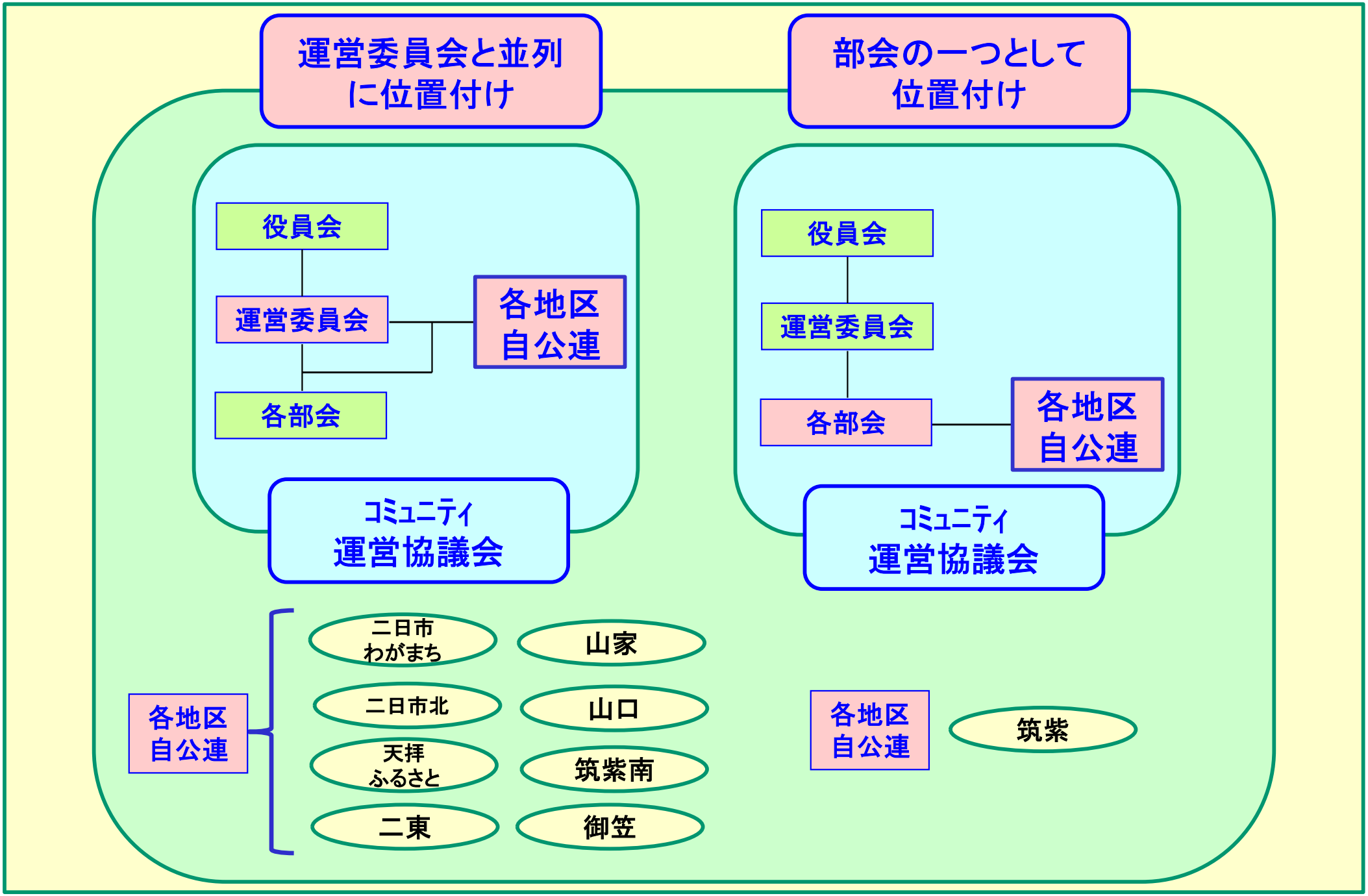


（全87組織）

市自公連【組織】


一体化後（平成31年度～）
再編後（令和8年度～）
各地区自公連
（公民館長・主事）
筑紫野市
自公連
各地区
公民館長・主事
＜171名＞
総　会
各地区公民館
館長代表：1名
主事代表：1名
＜14名＞
理事会
会長
副会長（4名）
会計
事務局長
＜7名＞
（理事より選任）
各地区1名
役員会
＜事務局＞
構成員
最高
議決
機関
協議
議決
機関
答申
協議
機関
各地区自公連
（公民館長・主事）
筑紫野市
自公連
各地区
公民館長・主事
＜171名＞
総　会
各地区公民館
館長代表：1名
主事代表：1名
＜18名＞
理事会
会長
副会長（2名）
代表理事（4名）
会計
事務局長
＜9名＞
（理事より選任）
各地区1名
役員会
＜事務局＞

各地区自公連＆コミ協一体化【組織】



R8市自公連研修体系

≪R8市自公連主催≫

- 6月 館長・主事等研修会
- 10月 推進大会
- 11月 市内公民館等研修ツアー
- 10月～12月 地区別公民館交流会

≪R8県・九州主催≫

- 8月 福岡県公民館大会
- 11月 九州地区公民館研究大会
  （参加者：各地区1名、希望有：2名）
  ※遠隔地（鹿児島・宮崎・沖縄）
  ⇒原則紙上研修・希望に応じて有志参加
- 1月 福岡県公民館実践交流会

役員有志のみ参加

- 9月 公民館事業活性化研修会
- 2月 福岡地区公民館研修会

定期総会

令和7年5月10日（土）　生涯学習センター

【参加者：175名】

●定期総会●

令和7年度

筑紫野市自治公民館連絡協議会

定期総会

日時 ： 令和 7年 5月10日（土）13:30～

会場 ： 筑紫野市生涯学習センター さんあいホール

館長・主事等研修会

□公民館長・主事の基本的な役割

□地域防災講演

「みんなでつくろう！
安心できる避難所運営のコツ」

【参加者：148名】

令和7年6月21日（土）　生涯学習センター

館長・主事等研修会

みんなで
やろうよ
ぼうさい
音頭♪
しほママの
安心術
しほの部屋
研修会
講師

災害対応カードゲーム教材
クロスロード
Decision
YES
Decision
NO
いざ、という時判断するのは自分。
正解が一つではない　課題に向き合おう
館長・主事等研修会
講師

推進大会

【テーマ】

地域福祉を推進する公民館活動の活性化

～子ども･高齢者等多世代交流の居場所づくり～

□講演
□事例発表･研究討議（インタビューダイアローグ）
□展示（各地区公民館活動）

【参加者：187名】

令和7年9月27日（土）　生涯学習センター

●推進大会●

開会行事
筑紫野市自治公民館連絡協議会 推進大会
来賓

展示
御笠まちづくり協議会
生涯学習 2025

研修会
筑紫野市自治公民館連絡協議会 推進大会
広く愛され
活用される
公民館づくりのコツ
特定非営利活動法人
ふくおかNPOセンター
代表　古賀 桃子
講師

研究討議
筑紫野市自治公民館連絡協議会 推進大会
令和7年度
筑紫野市自治公民館推進大会
インタビューダイアローグ
【テーマ】
「地域福祉の実践と公民館活動」
～ 地域ぐるみで子どもの居場所づくりを ～
令和7年9月27日（土）
筑紫野市自治公民館連絡協議会

市内自治公民館等研修ツアー

目的

市内の身近な公民館等の活動事例を現地で研修し、各地区公民館活動の参考に資するとともに、活性化を促進する。

成果

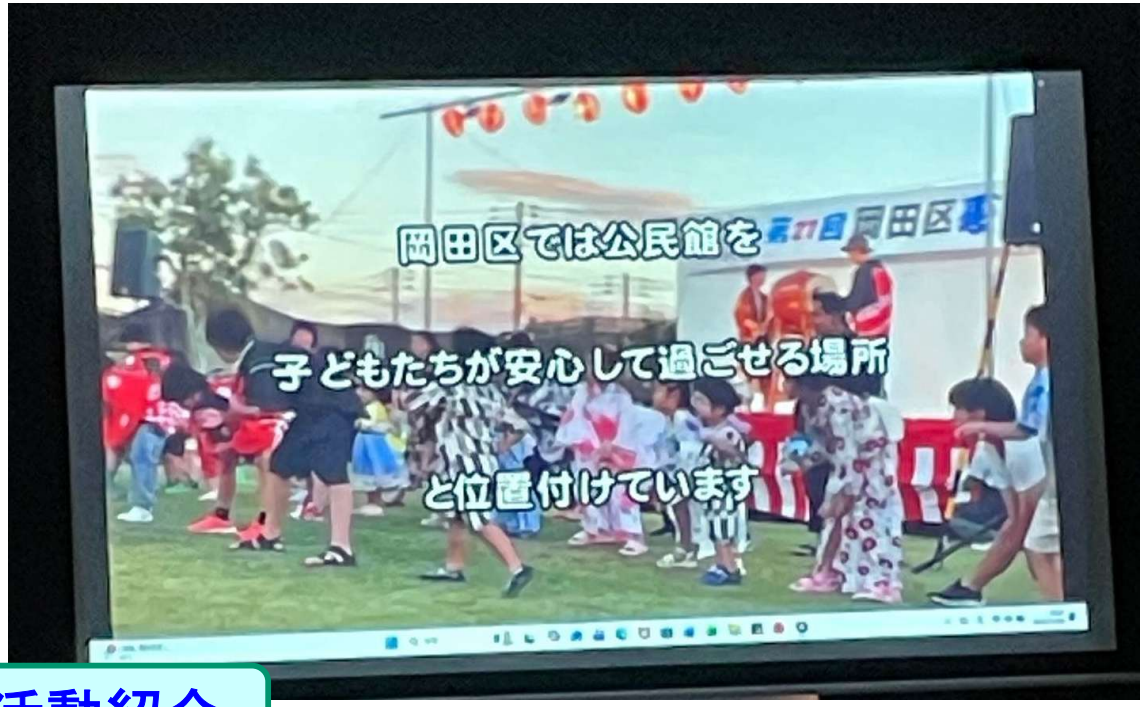
一方的な受け身の研修ではなく、共通の課題に関する忌憚のない活発な意見交換、情報共有化を実現

≪研修先≫	実施日	研修テーマ	参加者
岡田公民館	11/8 10:00～ 12:00	①地域概要　②子どもの居場所づくり ③地域防災・防犯　④地域福祉 ⑤広報活動（会報おかだ） ⑥夏祭り・ボランティア・サロン他	33名

座談会：（全体テーマ）公民館活動の活性化

≪場所≫	実施日	テーマ	参加者
生涯学習センター	11/8 13:00～ 14:30	①課題確認（□若者・現役世代の利用促進□後継者の育成□自治会の運営） ②具体的な対策・取組み	11名

●市内公民館等研修ツアー・座談会●



活動紹介

座談会

意見交換

筑紫野市自治公民館ハンドブックの作成

【公民館ハンドブック作成の目的】

筑紫野市内各地区の自治公民館情報（建物写真、場所、活動内容、参考事例等）を集約し、情報を共有化する。特に、優良事例・先進的な取組事例等を掲載し、各地区公民館活動の活性化に資する。また、掲載情報は、継続的に追加・更新する。

令和5年度

創刊号作成（基本情報掲載）

- ◇公民館建物等写真
- ◇公民館地図、ホームページ（QRコード）
- ◇各地区人口・世帯数・高齢者数
- ◇年間活動内容（紹介記事、写真等）
- ◇館長主事役割・行政支援情報等

令和6年度以降

追加情報掲載

- ◇基本情報の補足・更新内容
- ◇優良事例紹介（公民館常時開館等）
- ◇先進事例紹介（オンライン公民館等）
- ◇公民館運営課題・対策等
- ◇各地域の人材紹介等

※随時、ホームページに掲載

HB作成委員会発足(2023.5) → 掲載情報収集原稿作成(6～1) → 印刷原稿完成(2024.2) → 印刷・配布(2024.3)